

アトピー性皮膚炎に対する高純度軟化水の皮膚バリア機能改善効果

田中あかね¹⁾、高井政貴²⁾、吉成佑治²⁾、松田浩珍¹⁾
(東京農工大学大学院¹⁾、三浦工業株式会社²⁾)

【目的】皮膚バリア機能の障害はアトピー性皮膚炎（AD）の症状悪化と相関があることが報告されており、ゆえに適切なスキンケアはADの病勢を緩和し治療効果を高める上で重要である。皮膚の洗浄には一般に石鹼が使用されるが、石鹼と水道水中の2価金属イオンとの反応で生じる金属石鹼は、洗浄後も皮膚に吸着残留することから、皮膚炎悪化の一因となる可能性がある。本研究では、2価金属イオンを取り除いた高純度軟化水（UPSW）を用いて、AD患者およびADモデルマウスの皮膚に対するUPSW洗浄の効果を調べた。【方法】金属石鹼の残留は、ヒトボランティアの腕の角層から、ガスクロマトグラフィーで測定した。皮膚科医によって軽症と診断されたAD患者18名を対象に、UPSWで4週間入浴を継続し、この間角層水分量、経表皮水分蒸散量（TEWL）の測定および臨床所見の評価を行った。また、UPSW洗浄したNC/Ngaマウスの搔爬行動とTEWLを測定した。【結果】UPSWで洗浄した皮膚では、水道水と比べ有意に短時間で石鹼が消失した。UPSWで入浴したAD患者の皮膚では、角層水分量が増加し、TEWLが減少し、臨床所見が有意に改善した。さらにUPSWで洗浄したNC/Ngaマウスでは、水道水と比べ搔爬行動とTEWLが減少した。【結論】UPSWによる皮膚の洗浄は、保湿性を向上させ、乾燥や痒みなどの臨床症状を軽減したことから、AD患者のスキンケアに対して有用であると考えられた。